

25周年を迎えた米国初ETF

インデックス投資の世界を変えたSPY

SPDR® S&P 500® ETF (SPY) 米国上場25周年記念特大号

SPDR® S&P 500® ETFは米国ニューヨーク証券取引所(NYSE)アーカ市場に上場しているETF(ティッカーコード:SPY)で、東京証券取引所にも重複上場(証券コード:1557)しています。

目次

1面

世界最大のETF、
SPY25周年物語

2面

SPYの仕掛け人
ジェームス・ロスからのメッセージ
SPDR® ETFを選ぶ理由

3面

米国上場 25 周年記念
打鐘セレモニーを東証で開催



SPY の魅力を識者と徹底解剖!

4面

S&P 500® 指数 今昔物語クイズ
SPDR® ETF を運用するステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ (SSGA) について

世界最大*のETF、 SPY25周年物語

変革を引き起こした革新

1993年1月29日、極寒の朝のニューヨークで、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(以下SSGA)の関係者たちは米国初のETF(上場投資信託)を世に送り出しました。興奮が渦巻く一方で、うまくいくだろうかという不安もありました。

ETFが歴史上もつとも革新的で既存の価値観を打ち砕く影響力をもつ金融商品の一つになることなど、誰も想像していませんでした。全ては、25年前にSSGAとアメリカン証券取引所、そしてSPDR® S&P 500® ETF (SPY) から始まったのです。

危機から生まれた革新

ETFは、1987年10月19日に二日の下げ幅としては史上最大を記録したブラックマンデーの焼け跡から生まれました。米国証券取引委員会は、インデックスを構成する個別株の自動発注システムが相場急落のひとつの要因であり、「株式バスケット」をトレードするマーケット・メーカーが創設されていけば、自動売買プログラムの影響を劇的に軽減することができたはずであると結論づけました。誰かそのような商品を考えてくれないうか。

多くの人がこの難題に立ち向かいましたが、米国の株式市場を広範にカバーするS&P 500® 指数のパフォーマンスに連動する株式バスケットを考案し、普通の株式のように証券取引所で売買される商品を最初に市場に出したのは、SSGAとアメリカン証券取引所でした。SPYを皮切りにさまざまなETFが登場し、機関投資家から一般の投資家まで、あらゆる投資家が、これまでコストが高く、取引が困難だった資産クラスに容易に投資できるようになったのです。

「私は、最初のSPDRを市場に送り出したプロジェクトチームのメンバーでした。SSGAは、その開発のためにアメリカン証券取引所(現ニューヨーク証券取引所)に協力するよう依頼されました。新しく、しかも革新的なものであったため、開発にはとても長い時間がかかりました。正直に言いますと、当時、私たちは、それがうまくいくようにと祈るような気持ちだったので、うまくいくという保証はありませんでしたし、人々がそれに関心を示してくれるかどうかとも未知数でした」

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
グローバルSPDRビジネス
チエアマン
ジェームス・ロス



*出所:SSGA調べ、2018年1月末現在。

ステートストリートが25年前に米国初のETFを世に出した時は歴史上最も革新的でこれまでの価値観を覆す金融商品になるとは思ってもいませんでした。

今日、世界中には何千ものETFがあります。

ETFの始まりをご存知ですか？
ETFの始まりと、いかに投資の世界を変えたかをご紹介します。

米国初のETF

ステートストリートはアメリカン証券取引所(A MEX)から新しい金融商品を開発しようと提案を受けました。

A MEXに上場し取引される現物裏付のある証券化商品を送り出すことでした。結果、機関投資家はS&P 500® 指数の幅広いエクスポージャーを取得できる証券を市場で売買出来るようになりました。

産業革命

ETFは投資に革命をもたらしました。全ての投資家に、より良いポートフォリオを構築することが可能となりました。

投資家やファイナンシャルアドバイザーの顧客の投資目標達成のためのポートフォリオ構築ツールの一部として活用されたのです。



ジェームス・ロス

グローバルSPDR チェアマン
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

SPY 25周年

ジェームス・ロスがETF革新の歴史を語る

ETFの将来

ETFは世界中の多くの投資家に投資の民主化をもたらしました。

ETFの将来はとも明るいと考えます。ETFに対する規制変更やグローバル金融市場の変化が今後もあると思います。

これによりETFの成長を促し、ETFは世界中の投資家にとって非常に重要な金融商品であり続けるでしょう。

アジア太平洋地域はETF業界の発展において非常に重要な意味をもち、将来においてもそれは変わらないと信じています。

ETFの歴史が始まったばかりの国もありますが今後、ETFは益々発展しより分散されたポートフォリオに活用され皆様に長期的な利益をもたらすと信じております。

(2018年1月8日)

どのように投資の世界を変化させたか

今日、世界には6700本を超えるETFが存在し、その資産規模は4.5兆米ドルに上ります。¹米国においては、ETFの年間売買高(20兆米ドル)は米国GDP(18.4兆米ドル)を上回っています。²ETFは、あらゆるタイプの投資家が、実質的にすべての資産クラスに投資できる機会を切り拓き、しかも、誰もが同じコストで売買することを可能にしたのです。

ウォーレン・バフェットやヘッジファンド、巨大投資家にとって役に立つものは、誰にとっても役に立つのです。

日本には今日、国内籍と外国籍ETF合わせて230本のETFが上場しています。³ステートストリート・グローバル・アドバイザーズが運用するETFは全31本が国内届出済みで、SPDR® S&P 500® ETF(銘柄コード1557)、SPDR® ゴールド・シェア(同1326)そしてアジア国債・公債ETF(同1349)の3本が東京証券取引所に重複上場しています。

20兆米ドル
ETFの年間売買高

vs 18.4兆米ドル
米国GDP

「SPDRの登場によってグローバルETF市場が発足してから四半世紀が経過しましたが、私たちは、まだ長期的な変革の先端にいるのだと確信しています。投資家からの要望が革新と市場の成長を促進するでしょう。だからこそ、投資家のニーズを十分に理解し、想像力を働かせ、そして専門知識に精通していることが違いをもたらす鍵となるのです。私たちは、機関投資家であれ、個人投資家であれ、すべての投資家がETFを利用してよりよいポートフォリオを構築できるよう懸命に支援してきました。」

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

取締役 マーケティング・ETFビジネス担当

デビッド A. コリンズ

世界に広がる投資機会

米国で上場したSPYは、2011年3月24日に東京証券取引所(証券コード・1557)に上場しました。さらに、シンガポール証券取引所(証券コード・S27)や、オーストラリア証券取引所にも上場しており、機動的な取引を可能にしています。

SPDR® ETFを選ぶ理由

SPYに始まり、革新は全てのSPDR® ETFのDNAに組み込まれています。そして、この革新の中心にあるのは、投資家のニーズに応えたいという情熱です。グローバルにおける長い経験とネットワークを活用し、私たちは多様な資産クラス、時価総額、そしてスタイルの中から、投資家のニーズに合致したETFだけを市場に送り出しています。

お客様の望む投資対象へのアクセス

新しい市場や資産を追加することで、ポートフォリオをご自身の戦略に調和させることができます。しかも、投資のタイミングや金額は自由に決めることができます。

シンプルであること

普通株と同じように東京証券取引所やニューヨーク証券取引所(NYSE)アーカ市場、香港証券取引所等そのETFが上場している市場で売買できます。

分散を高める

ETF1本で、世界中に瞬時に分散投資を実現することが可能です。

透明性

SPDR® ETFは、日次で保有銘柄の全リストが公表されるので、常に、保有銘柄とその価格を知ることができます。

低コスト

投資信託に比べて運用手数料と管理費が低く抑えられています。

実物による裏付け

全てのSPDR® ETFには現物による裏付けがあり、あらゆる市場セグメントにシンプルで透明性の高い方法でアクセスが可能です。

1. SSGA, モーニングスター: 2017年10月末現在。
2. ブルームバーグ・マーケット: 2016年11月時点。
3. 日本取引所グループ: 2018年1月12日現在。

東京証券取引所にて 米国上場 25 周年記念 打鐘セレモニーを開催頂きました

2018年1月30日(火)、株式会社東京証券取引所主催により、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSGA)が運用する世界最大のETFであるSPDR® S&P 500® ETF(銘柄コード1557(東証))、SPY(NYSEアーカ)が米国上場25周年を迎えたことを祝し、東証アローズ オープンプラット フォームにおいて記念式典を開催頂きました。

セレモニーでは株式会社東京証券取引所 宮原 幸二郎代表取締役社長よりステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社代表取締役社長 高村 孝に木槌の贈呈、続けて社長の高村、取締役でETFビジネスを統括するディビット A. コリンズとETF商品部長の杉原正記による打鐘が行われました。

SPYは、米国では1日当たり平均で200億米ドル規模の売買がされており、規模そして流動性(※)において世界No.1のETFとして知られています。

社長の高村は挨拶の中で、「SPYはETF市場のパイオニアとして、今日でも米国のみならず日本も含む世界中の投資家に幅広く利用されていること、2018年1月23日には、運用資産残高が3000億米ドルを超えたこと」などを紹介しました。



25周年を祝して、鐘開きも執り行われました。右から東京証券取引所宮原社長、SSGA社長高村、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス 牧野日本オフィス統括責任者

東京証券取引所、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの役員の方々の皆様との記念撮影



さらに、「SPYは米国を代表する500社の株式に手軽に分散投資できる手段を投資家の皆様へ提供し、2011年3月24日に東証に重複上場したことにより、日本の投資家の皆様にとって、さらに「層の利便性をご提供できることとなった」と述べました。

米国時間2018年1月29日には、現在の主要上場取引所であるニューヨーク証券取引所においてもSPY上場25周年を記念したクロージングベル・セレモニーおよび記念イベントが行われました。

※出所…SSGA調べ、2018年1月末現在。

SBI証券

【特集】SPY25周年対談! ETFの歴史を切り拓いたSPYとETF市場の発展!



掲載ページURL

https://site1.sbisec.co.jp/ETGate/WPLETmgR001Control?OutSide=on&getFlg=on&url=search_foreign&cat1=foreign&cat2=none&dir=info&file=foreign_info180214.html

<手数料等およびリスク情報について>

外国株式のお取引等に当たっては、所定の手数料がかかります(手数料はお客さまの取引コース、取引チャネルや外国有価証券市場等により異なることから記載しておりません)。外国株式の取引等は、株価や為替市場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示、または上場有価証券等書面をご確認ください。

SPYの魅力を知者と徹底解剖!

SBI証券のウェブサイトで、ファイナンシャル・ジャーナリストの竹川美奈子氏とSPDR® ETFを提供しているSSGAでETFビジネス マーケティング担当取締役を務めるディビット A. コリンズと、SPDR® S&P 500® ETF (SPY) 誕生秘話や、魅力について徹底討論しています。是非掲載ページをご覧ください。

Q&A

S&P 500[®] 指数 今昔物語クイズ

Q1. S&P 500[®] 指数の構成銘柄上位10社で、SPY上場当初から上場25周年時まで組み入れられている会社はどこでしょうか？

A. エクソンモービル B. コカ・コーラ
C. ウォルマート

S&P 500[®] 指数上位10銘柄SPDR[®] S&P 500[®] ETF上場時(1993年1月29日)

順位	銘柄	業種
1	エクソンモービル	エネルギー
2	AT&T	電気通信サービス
3	ゼネラル・エレクトリック(GE)	資本財・サービス
4	ウォルマート	生活必需品
5	アルトリア・グループ	生活必需品
6	コカ・コーラ	生活必需品
7	メルク	ヘルスケア
8	ロイヤル・ダッチ・シェル	エネルギー
9	プロクター・アンド・ギャンブル(P&G)	生活必需品
10	ジェネラル・テレフォン・アンド・エレクトロニクス	電気通信サービス

SPDR[®] S&P 500[®] ETF上場25周年記念日(2018年1月29日)

順位	銘柄	業種
1	アップル	情報技術
2	マイクロソフト	情報技術
3	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス
4	フェイスブック	情報技術
5	パークシャー・ハサウェイ	金融
6	ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)	ヘルスケア
7	JP モルガン・チェース・アンド・カンパニー	金融
8	???	???
9	アルファベット クラスC	情報技術
10	アルファベット クラスA	情報技術

出所: Bloomberg

Q2. S&P 500[®] 指数の時価総額は、SPY上場時から25周年までに約何倍になったのでしょうか？

A. 3倍 B. 8倍 C. 14倍

S&P 500[®] 指数時価総額SPDR[®] S&P 500[®] ETF上場時(1993年1月29日)

3,036,840.72 米ドル

SPDR[®] S&P 500[®] ETF上場25周年記念日(2018年1月29日)

??? 米ドル

出所: Bloomberg

Q3. S&P 500[®] 指数にSPDR[®] S&P 500[®] ETFが上場した1993年1月29日に1,000ドル(当時124,650円)投資をしていたら、今何倍になっているのでしょうか？

A. 約3倍 B. 約5倍 C. 約10倍

出所: S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス

Q4. S&P 500[®] 指数が、米国大型株式アクティブファンドをアウトパフォームした割合は15年間ではどの程度でしょうか？

A. 63.08% B. 84.23% C. 92.33%

Q5. S&P 500[®] 指数は常に500銘柄で構成されているのでしょうか？

A. ○ B. ×

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSGA)について

約40年にわたり、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(以下「SSGA」)は、直接的、間接的な当社の多くのお客様に対して投資目的達成に必要なサポートをさせて頂くことに邁進してまいりました。SSGAは、世界屈指の優良な機関投資家や金融法人のパートナーとして、インデックス運用からアクティブ運用に至る、厳密かつリサーチ主導の投資プロセスを通して、パートナーの目標達成のお手伝いをいたします。運用資産

残高が数兆ドル[※]に及ぶ当社は、そのスケールとグローバルな組織展開により、あらゆる市場、地域、資産クラスへのアクセスはもとより、考え抜かれた考察と革新的なソリューションをお客様にお届けいたします。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは、ステート・ストリート・コーポレーションの資産運用部門です。

※2017年12月31日現在の運用資産残高は2.80兆ドルです。

<ディスクレーマー> "Standard & Poor's[®]", "S&P[®]", "SPDR[®]"は、Standard & Poor's Financial Services LLC(以下「S&P」)の登録商標です。"Dow Jones"は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(以下「ダウ・ジョーンズ」)の登録商標です。これらの登録商標は、S&P Dow Jones Indices LLC(以下「SPDJ」)が使用許諾を得ており、ステート・ストリート・コーポレーションは特定の目的の使用について再許諾を受けています。SPDJ、ダウ・ジョーンズ、S&P、それぞれの関連会社及び第三者の使用許諾者は、ステート・ストリート・コーポレーションが提供する金融商品のスポンサーではなく、これらの商品の推奨・販売・宣伝もしていません。また、SPDJ、ダウ・ジョーンズ、S&P、それぞれの関連会社及び第三者の使用許諾者は、これらの商品への投資の適否に関してもいかなる意見表明もせず、関連する指数に係るいかなる過誤、遺漏ないし中断等に対しても責任は一切負いません。ETFは、流通市場において株式と同様に取引されますが、取引価格は変動し、基準価額を下回ることがあります。また、常に取引可能であるとは限らず、市場環境が悪化している場合は、大幅なディスカウントとなる可能性があります。本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社を含むそのグループ会社が提供する、国内証券取引所に重複上場したETF、外国籍ETF等に関する情報を含む、投資情報の提供を目的として作成しており、投資の勧誘等を目的とするものではありません。また、本資料掲載情報には国内の金融商品取引所に上場していないETFが含まれますが、これらには国内の金融商品取引所に重複上場していない商品も含まれ、金融商品取引法に基づく発行者開示が行われていないものもあります。本資料に掲載された当社及びそのグループ会社等の意見、見解は、本資料作成時点あるいは記載された作成基準日におけるものであり、今後、予告なく変更されることがあります。本資料に掲載している内容は、将来の運用成果等を保証又は示唆するものではありません。本資料は、各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。こうした情報は不完全であるか、要約されている場合があります。本資料の意見は全て当社の判断で構成されており、事前に通知することなく変更される可能性があります。本資料に掲載されているETFは主に株式や債券、REITなどの有価証券、金などのコモディティ等、上場投資信託(ETF)、コモディティ上場投資信託、上場投資証券等に投資を行います。これらに限定されたものではありません。また、掲載の情報は作成時点のものであり、市場の環境その他の状況等により予告なく変更されることがあります。

本資料上に掲載している情報及び資料に関しては、SPDRグローバルサイトを参考に一部抜粋、編集する等して掲載しています。上場されている国、地域の事情や自動更新のシステムエラー等により、情報の更新に遅滞が生じる可能性があります。より最新の情報をお求めになる場合は、各ファンドの組成された国のホームページをご参照ください。本資料には、各種ドキュメントで必要

な変更あるいは更新がされていない作成時点の翻訳のものもごさいます。また、本掲載内容と実際のSPDRグローバルサイトの内容に相違がある場合は、SPDRグローバルサイトの内容が優先いたします。

また、本資料に記載された情報に基づいて利用者がとった行動により利用者が何らかの損害を被ったとしても、弊社は一切責任を負うものではありません。運用実績は、ファンドの基準通貨で表示されています。

円で投資した場合の運用実績は、為替変動の影響により、表示された運用実績とは異なることがあります。個別の銘柄に関して、より詳細な情報が現地のサイトに掲載されていることがありますので、必要に応じてご参照ください。またこれらは金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

<投資にかかるリスクについて> ETFは、主に株式や債券などの有価証券に投資を行います。投資対象としている株式などの値動きにより、ETFの基準価額が下落することがあります。有価証券への投資には、価格変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、為替リスク等、様々なリスクがあり、ETFも同様のリスクが伴います。これらのリスク要因により、投資資産の市場価格が下落する場合があります。その為、投資元本を割り込む恐れがあります。ETFには上場廃止リスクがあり、純資産規模が縮小するなど、運用が困難になった場合や、上場取引所の上場基準に合致しなくなった場合、上場廃止となる場合があります。これらは主たるリスクであり、ETFへの投資に係るリスクはこれらに限定されるものではありません。

<ETFの投資にかかる一般的な留意事項> ① 元本保証はされていません。② ETFの一口あたりの純資産額と連動を目指す特定の株価指数等が乖離する可能性があります。③ 市場価格とETFの一口あたりの純資産額が乖離する可能性があります。

<ETFにかかる手数料・費用について> ETFを売買する際は、取扱いの金融商品取引業者の定める売買手数料がかかります。その他ETFを保有する際には、それぞれ個別に定められた費用がかかります。これらの費用には、運用会社・管理会社に支払う報酬、組入れ有価証券の売買の際に発生する手数料、監査費用等があります。これらは、運用の状況等によって変動するため、上限を示すことができません。当掲載情報は作成時点のものであり、市場の環境その他の状況等により予告なく変更されることがあります。

※取得のお申し込みには、必ず上場有価証券等書面又はその他の開示書類の内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。※購入のお申込や売買手数料等につきましては、当ETFを取扱いの金融商品取引業者(証券会社)までお問い合わせ下さい。

Expire Date: 31 December, 2018

©2018 State Street Corporation

Q1 A. エクソンモービル Q2 B. おおぞら倍 24,352,978.3米ドル Q3 C. 約10倍 概に1993年1月29日に1,000ドルを投資した際の2018年3月30日現在の時価は9,939,011ドル(約1,055,920円)に。(1993年1月29日1米ドル=124,650円、2018年3月30日1米ドル=106,244円計算) Q4 C. 92.33% Q5 B. × 2018年3月末現在506銘柄で構成されています。